令和８年度　第２回瑞浪市化石博物館協議会　会議録

日　時：令和８年 10 月 30 日（金）10 時 30 分～12 時
会　場：瑞浪市化石博物館、レクチャールーム
出席者　＜協議会委員＞　吉田　英一（学識経験を有するもの）会長
　　松岡　敬二（学識経験を有するもの）
　　藤井　志保（学校教育関係者）
　　西尾　京子（家庭教育の向上に資する活動を行うもの）
　＜事務局＞　水野　義康（館長）・安藤　佑介
欠　席　＜協議会委員＞　中山　京三（社会教育関係者）

１　あいさつ
館長より開会の挨拶がなされた（内容は省略）。
吉田会長より挨拶がなされた（内容は省略）。

２　報告事項
令和８年度事業中間報告
１）普及活動の充実
・③博物館実習生の受け入れについて
委　員：実習生を受け入れる際に、大学との協定などは締結しているのか。
事務局：締結はしておらず、大学からの依頼による。
委　員：実習生は何名程度までなら受け入れることができるのか。
事務局：４名程度である。
委　員：受け入れの条件などホームページで公開しているか。
事務局：現在、博物館実習についてはホームページで公開していない。
委　員：受け入れの条件や実習期間などをホームページで公開したほうが良い、博物館実習生を受け入れているというアピールにもなる。
事務局：今後、条件や掲載事項を精査し、年明けくらいにはホームページで公開できるようにする。

・⑤出前授業
委　員：出前授業の呼びかけは、理科部会や教務主任会で呼びかけるのが効果的だが、４月よりは地学の単元を習う時期に近い、６月のほうが良い。
事務局：今後は教育研究所にも相談し、６月の理科部会で呼びかけるようにする。

・⑦第二回化石検定の開催について

委　員：前回１級を取得した方がいたが、その方にボランティアなど、化石博物館に関わっていただくことはできないのか。

事務局:前回１級を取得された方を本年３月に化石アンバサダーに委嘱した。今後１級を取得された方に博物館活動に関わってもらえるような方法を考えたい。

２）資料の充実と調査・研究

・⑦化石博物館研究報告の発行

委　員：本年は論文が 16 編も投稿されており、大変充実しているが、編集などの作業は職員の負担になっていないか。また、出版にかかる予算は確保できているか。

事務局：当館の研究報告は、委員会方式での編集ではなく、学芸員が投稿された著者や査読者と直接やり取りしており、今のところ負担にはなっていない。また、予算も毎年獲得しており、今後も安定して出版できる見込みである。

３　協議事項

令和９年度事業について

委　員：予算は毎年右肩下がりなのか。

事務局：無駄な予算を要求しないように精査しているが、必要な事業については予算要求をするように心がけている。

委　員：入館料が 200 円と非常に安いと感じる。今後見直しをする予定はあるか。

事務局：市が管理・運営する施設については、今後使用料等の見直しをすることとなっている。将来的には入館料も変わる可能性がある。

委　員：歳出だけでなく、歳入予算の規模も知りたい。事業費の何割を入館料や講座の参加費でまかなっているかは重要な指標である。

事務局：次回以降は歳入予算についても協議会で報告することとする。

４　その他

協議会開催の午後に新種ミズナミジカの記者発表を行なったため、委員に化石を見ていただいた。黒光りする歯や角など見ごたえのある化石のため今後展示などで活用してほしいとの意見をいただいた。